



設定を管理します

SaaS Backup for Microsoft 365

NetApp
June 20, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/saasbackupO365/concept_backup_policies.html on June 20, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

設定を管理します	1
バックアップポリシー	1
SaaS Backup のストレージ用のバックアップポリシー	1
BYOS のバックアップポリシー	1
バックアップ設定	1
サービスごとのバックアップ設定	1
バックアップ設定を更新します	3
通知を設定する	3
権限	4
サービスアカウントを追加します	4
ユーザ権限を Azure Active Directory と同期する	4
共有メールボックスを有効にする権限を付与します	5
ロールベースアカウントアクセス	6
ユーザアカウントに管理ロールを割り当てます	6
ユーザアカウントに割り当てられている管理ロールを更新します	6
ユーザアカウントからすべての管理ロールを削除します	7

設定を管理します

バックアップポリシー

SaaS Backup for Microsoft 365 には、3 つのバックアップポリシー階層があらかじめ定義されています。これらのポリシー階層は、SaaS Backup のストレージと BYOS のどちらを使用しているかによって、バックアップ頻度とデータ保持期間が異なります。

3 つのポリシー間でデータを移動することはできますが、新しいポリシーを作成したり、事前定義された階層のパラメータを変更したりすることはできません。

SaaS Backup のストレージ用のバックアップポリシー

バックアップポリシー	バックアップ頻度	デフォルトのデータ保持期間
ティア 1	12 時間に 1 回	3 年
ティア 2	18 時間に 1 回	3 年
ティア 3	24 時間に 1 回	3 年



管理者は、SaaS Backup が提供するストレージのデータ保持期間を最大無制限に変更できます。サブスクリプションがアクティブな場合、SaaS Backup はバックアップデータを保持して保持期間を設定します。

BYOS のバックアップポリシー

BYOS は既存のお客様のみを対象としています。

バックアップポリシー	バックアップ頻度	デフォルトのデータ保持期間
ティア 1	12 時間に 1 回	無制限
ティア 2	18 時間に 1 回	無制限
ティア 3	24 時間に 1 回	無制限

バックアップ設定

バックアップ設定を更新して、さまざまなバックアップオプションを制御できます。使用可能なバックアップ設定はサービスによって異なります。

サービスごとのバックアップ設定

バックアップ設定	説明	有効	使用可能な場所
自動同期	新しく追加または削除されたユーザ、 OneDrives 、またはサイトコレクションのスケジュールされた自動同期を 24 時間ごとに有効にします。	デフォルトでは	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Exchange Online の略 Microsoft SharePoint Online Microsoft OneDrive for Business の場合 Microsoft 365 グループ
OneNote バックアップを有効にします	OneNote ノートブックのバックアップを有効にします。	手動で実行する	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft SharePoint Online Microsoft OneDrive for Business の場合
回復可能なアイテムの復元を有効にします	Microsoft Exchange の回復可能なアイテムを復元できます。	手動で実行する	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Exchange Online の略
リカバリ可能なアイテムのバックアップを有効にします	Microsoft Exchange のリカバリ可能なアイテムのバックアップを有効にします。リカバリ可能なアイテムのバックアップを許可できるのは、階層 1 のバックアップポリシーだけです。	手動で実行する	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Exchange Online の略
ワークフローを含める	バックアップのワークフローが含まれます。	手動で実行する	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft SharePoint Online Microsoft 365 グループ
リストビューを含む (Include List Views)	バックアップのリストビューを含みます。	手動で実行する	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft SharePoint Online Microsoft 365 グループ

バックアップ設定	説明	有効	使用可能な場所
バージョン履歴を含める	<p>バックアップ内の複数のファイルバージョンを保守できるようにします。</p> <p> この設定は、個々のファイルにのみ適用されます。フォルダ、階層、サービス全体には適用されません。</p>	デフォルトでは	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft SharePoint Online Microsoft OneDrive for Business の場合 Microsoft 365 グループ
バージョンの数	保持するバックアップファイルバージョンの数を設定します。デフォルトでは、この設定が有効になっていない場合でも、最新バージョンが自動的にバックアップされます。	デフォルトでは 20 に設定されています	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft SharePoint Online Microsoft OneDrive for Business の場合 Microsoft 365 グループ

バックアップ設定を更新します

手順

- 左側のナビゲーションペインで [*Services] をクリックします。



- [Microsoft 365] をクリックします。



- [サービスの管理] で、[バックアップ設定] アイコンをクリックします  をクリックします。選択したサービスで使用できるバックアップ設定のリストが表示されます。
- 目的のバックアップ設定を選択します。
- [* 確認 *] をクリックします。

通知を設定する

アカウント通知にユーザを追加し、各ユーザに通知を送信する特定の通知を選択できます。たとえば、リストアの失敗が発生するたびにユーザに E メール通知を送信するように設定できます。

手順

1. 「* アカウント設定 *」をクリックします。
2. [通知管理] をクリックします。
3. 通知を受信するアカウントの E メールアドレスを入力します。
4. [Add Notifications] をクリックします。通知用のアカウントのリストの下にユーザが追加されます。
5. ユーザに通知する通知を選択します。
6. [保存 (Save)] をクリックします。

権限

サービスアカウントを追加します

必要に応じて、サービスアカウントを追加してバックアップのパフォーマンスを向上させることができます。サービスアカウントは、同時にバックアップを効率的に実行するために使用されます。

手順

1. 管理者権限を持つアカウントで Microsoft 365 管理ポータルにログインします。
2. アプリ起動ツールのアイコンをクリックし、* 管理者 * をクリックします。
3. 左側の [Users] 、 [Active Users] の順にクリックします。
4. [ユーザーの追加] をクリックして、新しいアカウントを作成します。
5. 以下の手順に従ってフォームに入力します。
 - * パスワードを作成する * を使用します。
 - [このユーザーが最初にサインインするときにパスワードを変更する *] オプションの選択を解除します。
 - ロール * カスタマイズされた管理者 * を選択します。
 - [Exchange Administrator] および [SharePoint Administrator] を選択します。
 - [製品ライセンスなしでユーザーを作成] を選択します。
6. 新しく作成したサービスアカウントで Exchange バックアップを実行するには、新しく作成したサービスアカウントに Exchange 偽装権限を割り当てます。"偽装の構成"



OneDrive サイトと SharePoint サイトには SaaS Backup が自動的にアクセス許可を割り当てるため、アクセス許可を割り当てる必要はありません。



このアカウントで多要素認証 (MFA) を有効にすることができます。

ユーザ権限を Azure Active Directory と同期する

SaaS Backup for Microsoft 365 から、ユーザ権限を Azure Active Directory と手動で同期できます。

手順

1. をクリックします  左側のナビゲーションペインから、
2. [Microsoft 365] リンクをクリックします。



3. [* アクセス許可の再検出 *] をクリックします。



サービスの権限が検出された場合は、オプションを active にしてサービスが表示されます。

共有メールボックスを有効にする権限を付与します

NetApp SaaS Backup for Microsoft 365 内の共有メールボックスを有効にする権限を付与できます。

手順

1. をクリックします  左側のナビゲーションペインから、
2. [Microsoft 365] リンクをクリックします。



3. [Grant consent *] をクリックします。



Azure 認証の許可ページが表示されます。

4. テナントアカウントを選択します。
5. * 権限を受け入れます。共有メールボックスは、次のスケジュールの * 自動同期 * 中に検出されます。または、 * 今すぐ同期 * を実行できます。[今すぐ同期] を使用している場合は、共有メールボックスが検出されるまで数分かかります。
6. * 自動同期 * または * 今すぐ同期 * 後に共有メールボックスにアクセスするには、次の手順に従います。
 - a. をクリックします  左側のナビゲーションペインから、
 - b. [Microsoft Exchange Online] をクリックします。
 - c. 保護されていないメールボックスの数をクリックします。
 - d. [Shared] タブをクリックします。

ロールベースアカウントアクセス

ユーザアカウントに管理ロールを割り当てます

管理者ロールをユーザアカウントに割り当てて、選択したユーザに 1 つ以上のサービスに対する管理者権限を付与できます。

ユーザには次のロールを割り当てることができます。

- グローバルテナント：すべてのサービス、ストレージターゲット、およびライセンスの更新（更新 / アップグレード）に管理権限を付与します。
- Exchange Administrator : Microsoft Exchange Online のみに管理者権限を付与します。他のサービスは表示または変更できません。
- OneDrive Administrator : Microsoft OneDrive for Business のみに管理者権限を付与します。他のサービスは表示または変更できません。
- SharePoint Administrator : Microsoft SharePoint Online のみに管理者権限を付与します。他のサービスは表示または変更できません。

手順

1. 設定アイコンをクリックします  画面左上のユーザー ID の横に表示されます。
2. 「* アカウント設定 *」をクリックします。
3. [* 役割管理 *] をクリックします。
4.  をクリックします  をクリックします。
5. 追加するユーザの E メールアドレスを入力します。
6. ドロップダウンメニューをクリックして、ロールを選択します。ユーザには 1 つ以上のロールを割り当てることができます。
7. [* 確認 *] をクリックします。

ユーザアカウントに割り当てられている管理ロールを更新します

ユーザの管理ロールが更新されると、そのユーザは自動的に SaaS Backup for Microsoft 365 からログアウトされます。ユーザが再度ログインすると、管理者ロールの更新がユーザアカウントに反映されます。

手順

1. 設定アイコンをクリックします  画面左上のユーザー ID の横に表示されます。
2. 「* アカウント設定 *」をクリックします。
3. [* 役割管理 *] をクリックします。
4. 更新するユーザー名の横にある [ユーザーの更新] をクリックします。
5. ドロップダウンメニューをクリックして、ロールを選択します。ユーザには 1 つ以上のロールを割り当てることができます。

6. [* 確認 *] をクリックします。

ユーザーアカウントからすべての管理ロールを削除します

ユーザのアカウントからすべての管理者ロールが削除されると、そのユーザは自動的に SaaS Backup for Microsoft 365 からログアウトされます。

手順

1. 設定アイコンをクリックします  画面左上のユーザー ID の横に表示されます。
2. 「* アカウント設定 *」をクリックします。
3. [* 役割管理 *] をクリックします。
4. 削除するユーザー名の横にある * ユーザーの削除 * をクリックします。
5. 「* はい *」をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。